

---

# 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第219号(通巻第286号)

---

2025年10月7日 発行  
山梨大学教育学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325、FAX 055-220-8790  
E-mail: edjissen-as@yamanashi.ac.jp  
URL: <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいても結構です。

\*\*\*\*\*コンテンツ一覧\*\*\*\*\*

- 令和7年度 教師力養成講座① 実施報告
- 第2回やまなし情報教育推進室学習会 開催報告
- 山梨大学免許法認定講習（情報）が今年度も始まりました
- 教育ボランティアニュース No.9
- 10・11月の主な行事予定

\*\*\*\*\*

## 令和7年度 教師力養成講座① 実施報告

1. 実施日 令和7年7月16日（水）13:10～15:30

2. 開催場所 A会議室（対面）  
（都合により受講できない学生はオンデマンド）

3. 次第

（1）開会行事

（2）講座

（3）閉会行事

希望者による相談会（15:05～15:25）

4. 受講者数 109名（対面）

7月16日（水）、山梨大学教師塾プログラム事業の一環として、「第1回教師力養成講座」を開催した。本講座は、学部3年生を対象に、現場経験豊富な講師のワークショップを通して、「後期実習への目標設定と指導力の向上」を目的に企画された。当日は、対面形式で行われ109名が受講した。

内容は、法政大学の辻本昭彦先生を講師としてお招きし、「自己肯定感とはなにかー自己肯定感なくして主体性は生まれないうー」というテーマでご講義いただいた。講義中はワークショップ（グループワーク）が多く行われた。その際、客員教授の先生方にはグループワークの様子を見守っていただき、ご指導ご支援をいただいた。当日、欠席した学生（教育実習の直前指導、病欠）は、後日オンデマンドで受講した。

受講後には、オンラインでのアンケートを行った。アンケートの内容から受講した学生にとって多くの学びがあった講座であることが伺える。自由記述欄にも多くの前向きな意見が寄せられた。

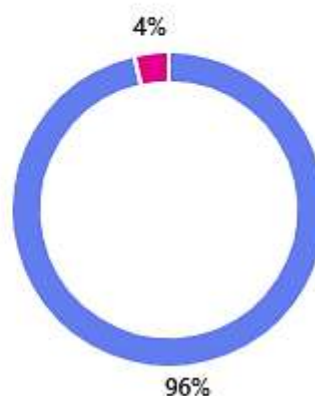


### 山梨大学教師塾プログラム2025・教師力養成講座1 アンケート集計結果

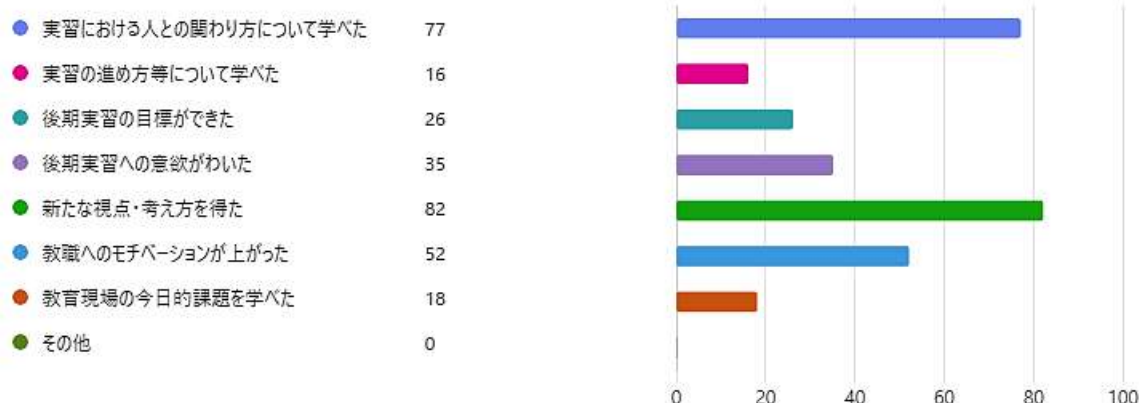
〈アンケート回答数114〉

1. 辻本昭彦先生(法政大学教授)の講義について、当てはまるものを次から1つ選んでください。

|               |     |
|---------------|-----|
| ● 1.よかった      | 110 |
| ● 2.まあよかった    | 4   |
| ● 3.あまりよくなかった | 0   |
| ● 4.よくなかった    | 0   |
| ● その他         | 0   |



2. 辻本先生の講義を受講して、当てはまるものを次から選んでください。（複数回答可）



3. 辻本先生の講義について、感想等を記入してください。

75回答者 (66%) この質問に 自己肯定感回答しました。



5. アンケート結果の分析

1 に関わって

- ・「よかった」が110名、「まあよかった」が4名で、不満を示す回答がなかった。講義に対し、満足していることがうかがえる。

2 に関わって（複数回答可）

- ・「新たな視点・考え方を得た」（82名）

多くの参加者が講義を通じて新しい知識や見方を吸収できたことがうかがえる。「ほかの方々とは異なった視点で新しく学びを得ることができた。」や、「児童生徒の自己肯定感を高めるための方法に気づかされ、自身の教育観が広がった。」という感想（自由記述）が見られた。さらに、「自己肯定感が低い」と感じている学生が、「自分って以外といいじゃん」と新たな視点を得た様子も感想から見られた。講義が、新たな視点を提供し、異なる考え方を理解するきっかけとなったと言える。

- ・「実習における人との関わり方について学べた」（77名）

多くの参加者が、実習時におけるコミュニケーション能力の重要性を実感したことがわかる。「児童生徒が無理なく他者と関わりを築く方法を、講義を通じて学べた。」や、「授業内外で関係を築きやすくする工夫を理解できた。」という感想（自由記述）が見られた。講義が他者との関わり方に対する理解を深める一助となったと言える。

- ・「教職へのモチベーションが上がった」（52名）

全体の半数の参加者が、教職への熱意を再確認するきっかけを得たようだ。「講義を通じて教職に対する熱意が復活した。」や、「今後の教員としての役割について具体的に考えら

れた。」という感想（自由記述）が見られた。講義が参加者のモチベーションを高める場としての役割を果たしたと言える。

- ・「後期実習への意欲がわいた」（35名）

全体の3割の参加者が後期実習に向けた明確な目標や方向性を設定できたことがうかがえる。「講義内容から後期実習の準備が具体化した。」や、「学びを深める意欲が高まった。」という感想（自由記述）が見られた。講義が実習に対する積極的な姿勢を育むきっかけとなり、参加者に新たな挑戦への自信を与えたと言える。

### 3に関わって

- ・自由記述では、75人（66%）が自己肯定感について言及している。「自己肯定感なくして主体的な行動はない」という言葉に共感を示す声や、「児童生徒の自己肯定感を高めるためには他者との関わりが不可欠である。」という意見が多く見られた。また、「授業を通じて自己肯定感の重要性を再認識し、教育活動に活かしたい。」といった感想も挙げられた。

以上のことから、本講義は、「後期実習への目標設定と指導力の向上」という目的において、多くの学生にとって有意義であった。特に、新たな視点の獲得や人との関わり方、教職へのモチベーション向上といった成果が、後期実習への意欲を高める大きなきっかけとなった。

## 第2回やまなし情報教育推進室学習会 開催報告

やまなし情報教育推進室

2025年8月7日(9:00~12:15)、山梨大学甲府キャンパス LC-17 教室にて「第2回やまなし情報教育推進室学習会」が開催されました。本学習会は、山梨大学教育学部附属教育実践総合センター やまなし情報教育推進室が主催し、地域の情報教育の充実を目的として、小・中・高・特別支援学校の教員や教育委員会、大学生・大学院生を対象に、ICTを活用した個別最適な学びと情報モラル教育をテーマに実施されました。

### 学習会概要

今回の学習会のテーマは「個別最適な学びと情報モラル教育」であり、ICTを活用して一人ひとりに応じた学びを実現する授業デザインと、国際的な SNS 規制の動向を踏まえた情報モラル教育について、講義・模擬授業・ワークショップを通して体験的に学ぶ内容が中心でした。参加者は約30名で、教育現場におけるICT活用の新たな可能性を実際に体感するとともに、情報モラル教育の課題について多角的に議論を深めました。



### ■ 開会挨拶とやまなし情報教育推進室の紹介

附属教育実践総合センター長・やまなし情報教育推進室長の新野貴則教授から、推進室設立の趣旨やこれまでの取り組みが紹介され、地域と連携した情報教育推進の役割が強調されました。



### ■ 第1部：個別最適な学び はじめの一步

栃木県壬生町立壬生東小学校教諭の稲木健太郎先生を講師、山梨大学の三井一希准教授をオーガナイザーとし、ICTを活用した模擬授業と「学びの手引」作成のワークショップが行われました。参加者は学習者の視点から授業を体験し、評価や活動設計を具体的に検討する機会となりました。



## ■ 第2部：豪州のSNS16歳未満禁止と情報モラルの授業

山梨大学の稲垣俊介准教授が登壇し、オーストラリアで成立した「16歳未満 SNS 禁止法」を題材に、国際的な規制の動向や教育現場への示唆を解説しました。続くワークショップでは、児童・生徒の発達段階に応じた SNS 指導の在り方について意見を交換し、「スポット規制」「段階的開放」「情報活用能力の育成」という三層モデルの重要性を共有しました。

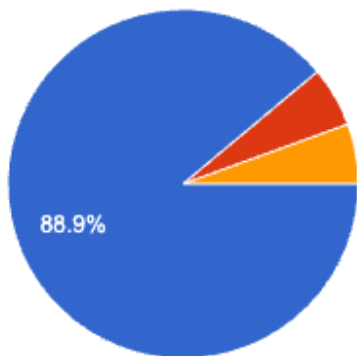
## 学習会のアンケート結果

■ 申込者数 31名／参加者数 30名

(小学校：15名，中学校：3名，高等学校：3名，教育委員会・センター：3名，大学・大学院：6名，ICT支援員：1名)

■ アンケート回答者数 18名

### 1. 今回のフォーラムの満足度を教えてください



|              |             |
|--------------|-------------|
| 1 満足した       | 16名 (88.9%) |
| 2 まあ満足した     | 1名 (5.6%)   |
| 3 どちらともいえない  | 1名 (5.6%)   |
| 4 あまり満足しなかった | 0名 (0%)     |
| 5 満足しなかった    | 0名 (0%)     |

\* 去年度以上に「満足した」の割合が増加

### 2. 1の回答理由を教えてください

- ワークショップをやってみて、子供の気持ちがわかりました。低いハードルから設定するということ、取り残さないことにつながると感じました。大変貴重な学びとなりました。
- 模擬授業を通して実際の授業を体験した上で、授業づくりについて考えることができたから。
- 先生方と話し合いで意見を聞いたり、社会情勢についても知ることが出来たからです。
- 実践、対話形式で情報を得ることができたから。
- 授業のあり方、SNSの在り方それぞれについて深く考えることができた。
- 個別最適な学びの具体的な実践例を知ることができ、自らの実践に生かせそうという見通しをもてたから
- SNSの規制をどの様に改善して国として、学校として持っていくかを考えさせられる講座でした。ぜひ、この件は小、中、高 学校とそれを貫いたやまなしメソッドを併用できる方法をご指導ください。
- 受講者に委ねる部分が多かったので、モヤモヤが残った。
- 模擬授業が、参考になりました
- 前半は学習の過程を児童生徒にも意識するよう指導すること、評価のハードルは低いものをBに設定して、Sまで、後半は子どものSNS利用の制限について、その他国の状況等、大変勉強になりました。

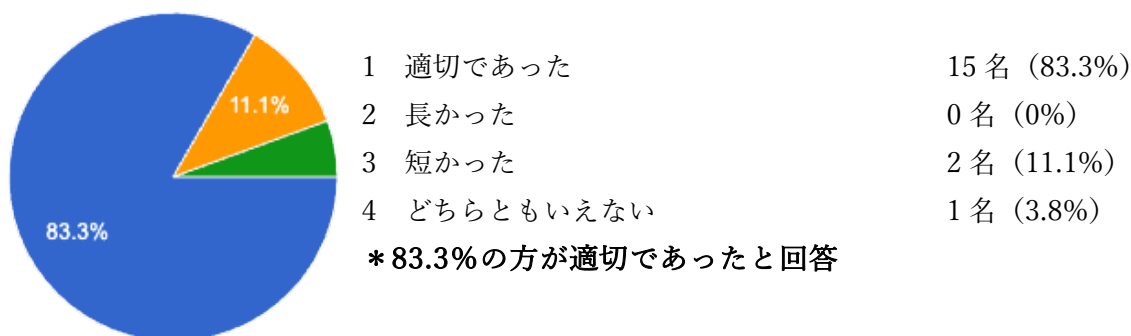
- 社会における「個別最適な学び」の授業例、三井先生の授業解説、稲垣先生の「豪州の SNS16 歳未満禁止と情報モラルの授業」から、ICT 活用、情報教育について盛りだくさんの学びを得ることができたためです。
- 情報活用能力を、実践的に学ぶことができたから。
- 子供たちにとって主体的に取り組むようになる授業、SNS との向き合い方といった点に関して、考えを深めることができました。
- 授業実践の仕方、校内研修で他の教員に対して今後の授業実践に対する示唆を得ることができたから。
- 体験的に学ぶ機会があり、児童の気持ちに立った学びとなった。
- 自身の問題で、前半パートは支援担当校からのご連絡対応などが入り研修に集中できていませんでした。後半の情報モラルについてはワーク含め参加できたため、非常に勉強になりました。

### 3. 今回の学習会に参加された感想を教えてください

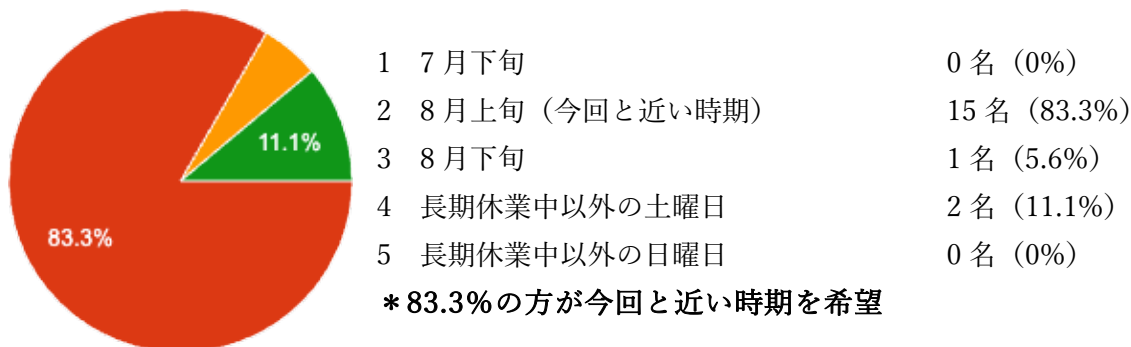
- 授業づくりのこと、情報のことについて改めて深く考える機会となりました。子供達に対して、どんなことを伝えていけばよいか、整理しながらもう一度考えたいと思います。
- 学習者主体の授業で深い学びを実現する難しさを改めて考えました。これからの情報教育の重要性について考えることができた。
- とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。
- とても良い情報を知ることが出来ました。ありがとうございました。
- 子どもたちの気持ちになって、体感する場面もあり、また情報に関わる問題についても話し合うことができて、実りある研修の時間になった。
- 授業づくりに意欲的な先生方が集まっていたこともあり、白熱した協議が展開されました。
- 新しく学べたことも数多くあったので、有意義な時間を過ごせました
- 個別最適な学びについて、より実践的な形式で講義をいただきました。1 時間の授業の流れが明確になり、授業の組み立てが考えやすくなりました。SNS の利用については、多くのデータから分析をして、多くの先生方からのご意見をいただき、自分の知見を深めることができました。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。続きの回をお願いいたします。
- 授業体験では小学校 5 年生設定とのことだったが、授業の目標やめあてをもう少し具体的に示さないと、ただの作業になってしまうのではと感じた。端末を使って Classroom を駆使した授業のスタイルは ICT を活用しているかんじがしたが、何のためにやるのかが児童役として受けている側には明確でなく、自分としては作業にすぐに入れなかった。やはり、てびきを作成するには、単元の指導計画が必要だと思い、その重要性に気付いた。
- スライド上の付箋を色がえするワークショップでは、指示以上の考えを深める作業を行っている先生が複数いることに感銘を受けました。SNS の子どもへの法規制は積極的に賛成の立場ですが、稲垣先生の話聞いて、抑制すべき行動を指導するだけでなく、よい例を示すことを情報モラルの指導に取り入れるのは必要だと考えました。
- パソコン接続に時間がかかり、残念でした
- 稲垣先生の「豪州の SNS16 歳未満禁止と情報モラルの授業」の豪州の事例から、日本ではどのような教育、授業が必要なのかを考える機会になりました。情報活用能力、情報モラルの育成は必須だと思うとともに、具体的に小学校段階ではどうするのか、もっと考えていきたいと思いました。稲垣先生、三井先生には、生成 AI の活用についてもいつかお話を伺いたいです。稲垣先生の授業、子供と同じ感想になってしましますが楽しく充実した学びの時間になりました。さらに、課題の設定はどのようなものが今後出てくるか、情報の収集、整理・分析と、どのように子供たちの活動が高まっていくのかについて、またお話をぜひ伺いたいです。大変貴重な学びの時間をありがとうございました。

- 座学だけでなく、グループワークを通して、情報教育について議論することができた。
- 子供たちに SNS に限らず、これから社会に出て生き抜いていく力を育てていくのには、何事にも自分ごととして考える習慣がつけられる指導をしていくことが重要だと考えた。日本の今の構造の中には「誰かが」「まあいいや」「わかってはいるけど」などの文化が多く根付いていると思う。しかし、今少しずつその構想が変化しているようにも感じる。2 学期の指導の中で改めて、子供たちと考える時間を大切にしたい。
- 手引きの作り方、学び方に着目するための先生の関わり方などを知ることができたのでとても大きな学びがありました。
- 大変有意義で来てよかったと思いました。
- 前半の協働学習について、大人は自由なスライドを共有されても問題ないですが、学生は場合によっては少し先生がテンプレートを作るか、意見がまとまってきた段階で整理の補助を行うなどが必要になるかと思いました。昨今の SNS 利用の問題点やセキュリティの懸念点は大人でも他人事ではありませんので、大人や有識者がどうやって管理体制を作っていくか、情報弱者を情報弱者として終わらせない仕組み作りをしっかりと考えていきます。(特に特別支援学校)

#### 4. 今回の学習会の時間設定（9:00～12:15）について教えてください



#### 5. 同様の学習会を開催するならばどの時期が参加しやすいか教えてください



#### 6. やまなし情報教育推進室の学習会で今後取り上げてほしいテーマを教えてください

- 情報活用能力育成について
- 学習者主体の授業づくりでどのように深い学びを実現していくか。
- AI への向き合い方
- 個別最適な学びの実践事例、活用できるアプリや、活用の仕方など どの教科の、どの単元で取り入れることができるか など
- 生成 AI を活用した授業づくりについて
- 生徒たちに情報の関心度を上げる方法（とその手段）
- 情報モラルの授業をデジタルシティズンシップ等も含めて。
- 児童生徒が主体的に活動したり、考えを深める授業づくりや実践例があれば。

- 生成 AI の活用
- なし
- 情報教育と教科教育の相互作用・共存
- 校務 DX、生成 AI の利活用
- Canva.Padlet などの教育アプリや、可能であれば電子黒板の活用事例が有料記事や会社、学校情報を載せないで閲覧できないものがあるため、電子黒板についての研修もあるとありがたいです。大型モニターとしてしか使われていない学校も多く見られます。

#### 7. その他何かありましたらご記入ください

- 楽しく、必死に、学ばせていただきました。ありがとうございました。
- 学ぶ貴重な場を作ってください、ありがとうございました。
- PC がネットに繋がらず、戸惑いましたが、ご丁寧なご対応に感謝いたします。
- 充実した内容の研修でした。ありがとうございました。
- なし
- 今回のようなワーク形式で意見交換ができる時間は非常に貴重で助かります。ありがとうございました。

やまなし情報教育推進室では今後も情報教育に関する学習会・フォーラムを開催していく予定です。  
最新の情報は WEB ページからご確認ください。 <https://www.yamanashi.info/>

## 山梨大学免許法認定講習（情報）が今年度も始まりました

やまなし情報教育推進室

山梨大学教育学部では高等学校での情報Ⅰの必修修化、大学入学共通テストにおける「情報」の導入を受け、教員としての資質向上と情報免許の取得教員を増やすことを目的に、高等学校教諭免許状を持つ現職教員等が高等学校一種免許状（情報）を取得する機会として、情報の免許法認定講習を昨年度より開講しています。

認定講習では、免許取得に必要な12科目を1年あたり4科目ずつ計3年間をかけて開講していき、必要な単位を取得すれば高等学校一種免許状（情報）が取得できます。本講習は、専門性のある本学教員が講師を務め、現職教員の勤務に配慮するために夏休み期間および土・日に開講しています。そして本学が受講料・教材費を全額補助するなど全国的にも珍しい形で講習を開講しています。8月には「情報ネットワーク演習」及び「情報科教育法Ⅰ」が開講されました。9月には「マルチメディア表現と技術」、11月には「情報倫理」が開講されます。



▲「情報システム演習」の様子



▲「情報科教育法Ⅰ」の様子

現職の先生方はもちろん、他教科の高等学校の免許状を有する本学大学院生、教員就職を目指すパーパーティーチャーなど幅広い方に受講いただき、高等学校一種免許状（情報）のニーズの高さがうかがい知れました。

来年度（令和8年度）は、「情報ネットワーク」「情報ネットワーク演習」「情報プレゼンテーション演習」「情報科教育法Ⅱ」の開講を予定※しています。来年度以降、やまなし情報教育推進室 Web ページに「令和8年度免許法認定講習募集要項」を掲載しますので、ご興味のある方にご案内いただくとともに、受講を希望される方は申込みをお願いいたします。

（※ 開講科目は文部科学省に申請前のため変更になる可能性があります）

\*\*\*\*\*

■山梨大学教育学部附属教育実践総合センター やまなし情報教育推進室 Web ページ

<https://www.yamanashi.info/>

\*\*\*\*\*



#### 北杜市立泉小学校・・・7月17日（木）訪問

訪問者：渡邊 昭二郎

泉小学校は、山梨県の北西部、「山紫水明」の地として知られる北杜市大泉町に位置しています。学校教育目標に《郷土を愛し夢を持ち続けながら未来を拓く》「かしこくゆたかにたくましい児童の育成」を掲げ、「よく考え進んで学ぶ子」「心豊かで助け合う子」「たくましくじょうぶな子」の育成を目指しています。また、創立以来、家庭の教育力や地域の協力を基盤とし、恵まれた大自然を教材として取り入れながら、心身共に健康で、自立して社会を支える力を育む学習活動を展開しています。

今回は、芸術身体教育コース4年の齊藤愛梨咲さんが、4年生の教室で教育ボランティアとして活動している様子を訪問しました。理科の授業で育てているゴーヤ畑の草取りでは、一人一人の様子を把握しながら、「この草を取ろうか」と、優しく声をかけている姿が印象的でした。子どもたちとのやりとりからは、愛梨咲さんが慕われ、頼りにされていることがよく伝わってきました。



「いっしょにサッカーをして遊んでくれたよ!」

児童の気持ちに寄り添いながら学習を支援する齋藤さんの様子



「だれにでも、とてもやさしい先生だよ!」

#### 【教育ボランティア学生インタビュー】

「教育ボランティアをやってみようと思ったのはなぜですか？」

教育実習を経て「教員になりたい」という思いが強まり、教壇に立つ前に現場の様子をより深く知りたと思ったからです。また、子どもと関わる経験を重ね、指導力を高めたいと思ったことがきっかけです。

「教育ボランティア活動を通じて気づいたことや、受け入れ先の先生方や子どもたちから学んだことは何ですか？」

様々な学年の児童と関わり、一人一人の個性や発達段階に応じた関わり方を学びました。また、先生方の柔軟な対応や、子どものやる気を引き出す声かけの工夫など、日々の実践から見て学ぶことが多いです。

「これから教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイスは？」

教育ボランティアは、教育現場のリアルを体感し、子どもと関わりながら学べる貴重な機会です。また、進路や理想の教師像を考える上で大きなヒントになると思います。

#### 【石川 博之校長先生のお話】

昨年度に続く活動となった学生ボランティアです。率先して児童と関わり、その積極的な姿勢が大変印象的でした。活動が進むにつれ、状況に応じて自ら考え、柔軟な対応ができるようになり、児童の中にすぐに馴染む明るく穏やかな人柄が光っていました。IT授業では机間巡視を行い、戸惑う児童に的確な声掛けを行うなど、安心感を与えていました。さらに、休み時間には児童からの誘いに快く応じ、校庭で交流を深める姿が見られました。空き時間にはプリントの丸付け作業など裏方の活動にも熱心に取り組み、関わった教職員からも多くの感謝の言葉が寄せられています。これらの姿から、学びを深めながら児童との信頼関係を構築する姿がとても高く評価されます。これからの活躍も期待しています。

教育ボランティア活動を受け入れ、様々なご配慮をいただいている泉小学校の先生方に感謝いたします。

## ■ 10・11月の主な行事予定

# 10～11月の 行事予定

山梨大学教育学部の  
関係行事を含みます

### 教員採用試験対策講座

○フォローアップ相談会2

10月1日（水）…M2、S1、4年

○時事通信出版局による基礎ガイダンス

ー教員採用試験の最新動向と学習対策ー

10月10日（金）…M1、3年、2年（次年度教採受験者）

○第1回 教員採用試験大学推薦説明会

10月22日（水）…M1、3年、2年

※申請時期が早期の自治体志望者は必ず出席

○論作文作成演習

10月23日（木）10月28日（火）…M1、3年（次年度教採受験者）

○教員採用試験に向けての相談期間（教採合格者によるアドバイス）

11月17日（月）～21日（金）…3年、2年

○学内模試1

11月26日（水）…M1、3年、2年（次年度教採受験者）

### 進路支援

○進路支援ガイダンス

10月8日（水）…2年全員

10月8日（水）…3年全員（ウォーミングアップ講座1含む）

○就活スタート説明会

10月8日（水）…3年全員、2年、1年

### 教育ボランティア

○後期教育ボランティアガイダンス

10月1日（水）…全学年